第５回三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議に
当所役員議員３１名が参加しました







2027 年の東京・名古屋間の開業に向け、いよいよ着工が秒読みとなる中、三重・奈良ルートで大阪まで全線同時開業を実現するためには、今が極めて重要な時期であることから、三重県と奈良県の商工会議所等経済団体で組織する、リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県連合協議会では、昨年度、全線同時開業による経済波及効果等の調査を実施し、その結果を公表、東京・大阪間全線同時開業の必要性を、広く広報し、国土交通省等に要望するなど活発な事業活動を展開しております。

このような状況の中、去る９月３日(水）、奈良県橿原市において、三重・奈良両県の経済団体連合協議会と両県・市関係者合同の促進大会が開催され、当商工会議所より岩佐会頭をはじめ、役員議員３１名が出席しました。

会議では主催者である鈴木三重県知事をはじめ、地元選出国会議員他の来賓挨拶に続き、三重・奈良ルートによる全線同時開業と中間駅の早期確定、環境影響評価に係る手続きの早急な着手等を求める共同アピールが採択されました。